

夢をかなえるために 学んだことを 自分の言葉で 語る子どもを育てる

学校教育目標

「夢をもち たくましく」

心を磨き
知性を高め
身体を鍛え
共に生きん北広島市立
東部中学校

ひろがり

修学旅行に行ってきました～網走・知床・摩周湖 道東の旅～

先月の8月24日（月）～26日（水）の2泊3日で、道東の修学旅行に行ってきました。コロナの終息が見えない中、今年度は中体連・体育大会等、人が多く集まるような行事を実施することができませんでした。修学旅行の実施も心配でしたが、3年生の

教職員は4度の計画変更をしても諦めることなく実施を信じていました。生徒や保護者の皆様に実施できることを話せたときはほっとしましたし、生徒達が素直に喜んでくれたことが本当に嬉しかったです。また、旅先のホテルをはじめとする方々にとっても念願の修学旅行だったようで、どこへ行っても温かく迎え入れていただきました。旅行は3日間とも天気恵まれ、網走監獄・知床半島・摩周湖の観光、阿寒



今年度の教育課程について

今年度の教育課程（授業進度）についてですが、月ごとに全教科で確認していました。夏休みの短縮等の様々な時数回復の措置により、ほぼ例年通りの進度に戻りつつあります。コロナ禍であっても、子どもたちの学力をしっかり保障できるように、今後も全教職員で丁寧な指導を心がけていきます。

湖畔での体験、締めくくりのラフティングと充実した3日間を過ごすことができました。コロナ禍においても、修学旅行にご理解していただいた保護者、事故なく無事成功させてくれた3年生の生徒達に感謝です。（文責 団長 教頭 寺嶋裕介）

（遠山さんから3年生へのメッセージ） 小1からソフトテニスを習い始め、小4で全国大会に参加した経験から、中学校でもソフトテニス部に入部しました。中学校では、顧問、外部コーチ、仲間達、環境に恵まれ大好きなソフトテニスに熱中できました。中2で全国大会に出場できましたが、二回戦敗退でした。このとき「高校では必ず『日本一』をとる」ために強豪の私立校へ進むことを決意しました。高校では、勉強・部活の両立に力を入れています。部活は、新しい仲間と「日本一」を目標に日々、練習していましたが5月に膝に痛みを覚え、6月上旬に病院で膝に腫瘍があると診断されました。医師から「運動を続けるのであれば手術が必要」と言われました。私はすぐに決断をすることができませんでした。しかし、「テニスを続けたいから手術する」と親と話し合い手術することを決めました。手術後も部活は毎日参加しましたが、仲間が楽しく練習し、日に日に上達していく姿を見ているのは本当に辛かったです。「頑張れ」と応援するだけの日々で、部活をやめて勉強に専念しようと思ったこともありました。しかし、仲間からの「待ってるぞ」「早く治せ。お前がいなくて全国優勝できない」の言葉や顧問の先生からの「俺がいるから大丈夫だ」という言葉には、とても励まされました。部活の仲間、先生方に恵まれ支えられてもいますが、この高校に進学して正解だったと心から思っています。最後に、今の私だから言えることですが、皆さんのように勉強ができる、部活に打ち込める環境があるのは、沢山の支えがあるからです。そのことを忘れず常に感謝の気持ちを持って生活してください。

◆進路選択に向け、卒業生からの言葉

9月3日、8日、11日の3回にわたって、高校の先生方に来ていただき、進路選択に必要な話をさせていただきました。とわの森三愛高校からは、昨年度まで本校に在籍していた遠山拓磨さんが来校し、3年生に話をしてくれました。

高校講話

(遠山さんから3年生へのメッセージ) 小1の頃にソフトテニスを習い始め、小4のときに全国大会に参加した経験から、中学校でもソフトテニス部に入部しました。中学校では、顧問、外部コーチ、仲間達、環境に恵まれ大好きなソフトテニスに熱中できました。そのおかげもあり、中2のときにも全国大会に出場できました。このとき、私は公立高校に進学しようと思っていました。全国大会では、日本一を目指しましたが、二回戦敗退でした。私はその結果に悔しさがこみ上げ、「高校では必ず『日本一』をとる」ために強豪校へ進むことを決意しました。高校では、勉強・部活の両立に力を入れています。部活は、新しい仲間と「日本一」を目標に日々、努力していました。ところが5月に膝に痛みを覚え、徐々に痛みが増していき、6月上旬に病院で膝に腫瘍があると診断されました。医師から「日常生活では問題ないが、運動を続けるのであれば手術が必要」と言われました。そのとき私は何も考えることができず、すぐに決断をすることができませんでした。しかし、「テニスを続けたいから手術する」と親と話し合い手術することを決めました。手術後も部活は毎日参加しましたが、仲間が楽しく練習し、日に日に上達していく姿を見ているのは本当に辛かったです。「頑張れ」と応援するだけの日々で、部活をやめて勉強に専念しようと思ったこともありました。しかし、そんなときに声をかけ、元気づけてくれたのは、やはり部活の仲間、顧問の先生でした。仲間からの「待ってるぞ」「早く治せ。お前がいないと全国優勝できない」の言葉や顧問の先生からの「俺がいるから大丈夫だ」という言葉には、とても励まされました。部活の仲間、先生方に恵まれ、この高校に進学して正解だったと心から思っています。最後に、今の私だから言えることですが、皆さんのように勉強ができる、部活に打ち込める環境があるのは、沢山の方々の支えがあるからです。そのことを忘れず常に感謝の気持ちを持って生活してください。